

相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和4年7月～9月)

長引く資材・燃料の高騰に、円安、感染症の再拡大が重なり、景況は再度悪化傾向に転じている。人手不足と人件費の増加も深刻化しつつある。

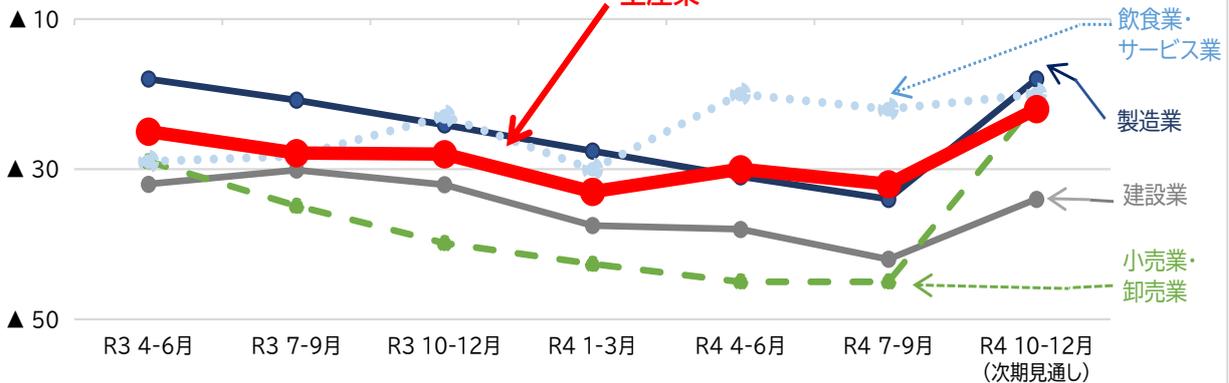
ポイント

- ▶ 令和4年7月～9月期の総合業況DIは▲32と、前期▲30とほぼ変わらなかった。前期改善した飲食業・サービス業(前期▲20・今期▲22)は再度停滞している。製造業(前期▲31・今期▲34)と建設業(前期▲38・今期▲42)は若干の悪化。小売業・卸売業(前期▲45・今期▲45)は、変わらなかった。
- ▶ コメントによると、ウクライナショックの長期化、円安、一部資材の不足による仕入・材料・燃料費の高騰の影響が、全業種に渡って見られる。人手不足や人件費の上昇も、多くの業種で深刻になってきている。景況の改善の声は一部にとどまっている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲22と、今期▲32から10ポイントの改善の見込み。製造業(今期▲34・次期▲18)と小売業・卸売業(今期▲45・次期▲21)は大幅な改善が期待される。建設業(今期▲42・次期▲34)もやや増加の見込み。ある程度回復傾向にある飲食業・サービス業(今期▲22・次期▲20)は、ほぼ変わらない予想である。

各業界から寄せられたコメント

- ・【電子機器の設計製造販売】電子部品調達が出来ず、苦労している。円安により仕入単価が上昇している。
- ・【空調設備工事】資材高騰、資材納期の遅れ、コロナでの従業員休業などの工事遅延。
- ・【空気圧機器の卸売と一部製造】仕入単価が上昇している上に品物がなかなか入ってこないの、それを見越して先行発注をしているが、仕入先に払う資金がギリギリになってきている。
- ・【和食】アルバイトがなかなか見つからない。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R3.7-9)	前々期概況 (R4.1-3)	前期概況 (R4.4-6)	今期概況 (R4.7-9)	次期見通し (R4.10-12)
製 造 業	▲ 21	▲ 28	▲ 31	▲ 34	▲ 18
建 設 業	▲ 30	▲ 38	▲ 38	▲ 42	▲ 34
小 卸 業	▲ 35	▲ 43	▲ 45	▲ 45	▲ 21
飲 食 業	▲ 28	▲ 30	▲ 20	▲ 22	▲ 20
全 業 種 (総 合)	▲ 28	▲ 33	▲ 30	▲ 32	▲ 22

業況天気図凡例

快晴 DI値 31以上	晴れ DI値 30~31	薄曇り DI値 10~▲10	小雨 DI値 ▲11~▲30	雨 DI値 ▲31以下
----------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------------

調査期間:令和4年7月1日～9月30日
 回答率:18.1% 回答者数:686件
 調査対象:当所会員事業所3,784事業所

<<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。